

入稿チェックシート

チェック項目	Illustrator		InDesign	
① 工程として守るべきルール、伝えておくべき項目				
仕上がりサイズ(仕上がりサイズ=アートボードサイズ・ ページサイズ)	W	×H	W	×H
裁ち落とし幅				
ページ数・ノンブル・綴じ方向の確認			頁 /	綴じ
使用するアプリケーションのバージョン				
ドキュメントのカラーモード(CMYK)				
ラスターライズ効果設定(高解像度・300ppi)				
色数(「分版プレビュー」「分版」パネルで確認)とインキ総量(TAC値)	C / TAC値	%	C / TAC値	%
特色の有無(特色=「カラータイプ:特色」のスウォッチの使用)				
特色データの作成方法(特色指定/プロセス代用)				
支給テンプレートの使用(支給時のみ)				
② 品質的に守ったほうがよいルール、確認すべきポイント				
● テキスト・フォント				
エリア内テキスト・テキストフレームのオーバーセット(アフレ)はないか?				
「環境にないフォント」はないか?(「書式」メニュー→「フォント検索」)				
「アウトライン」のチェック(「フォント検索」でフォントがリストされない)				
「アウトライン」後のデータ確認(文字欠け、文字化け、組版の崩れなど予期せぬ変更)				
変数・相互参照、ブックなどの更新と確認				
● オブジェクト				
0.1mm以下の線はないか?(色アミの罫線では0.25mm以上を推奨・「塗り」の線の有無)				
アピアランスの重複など「複雑な作り」のオブジェクトはないか?				
オブジェクトを「隠す」、レイヤーを非表示の設定はないか?				
● リンクファイル(配置画像)				
「無効なリンク(リンク切れ)」はないか?				
リンクファイルの「実効」画像解像度(300ppi~400ppi程度)				
リンクファイルのカラーモード(原則としてCMYK)とフォーマット(指定に従う)				
● オーバープリント				
不要なオーバープリントの有無(白・グラデーションへの設定など)				
「自動スミノセ」か「ノセイキ」か、オーバープリントポリシーの確認				
オーバープリント設定使用時の連絡				
③ 品質的、運用的に守ったほうがよいルール(修正・編集時)			※作業時のデータチェックは②を確認	
オリジナルデータと「同じバージョン」で開く				
オリジナルデータのバックアップ				
データエラーの確認(フォント・リンクファイルなど)				
編集・修正した箇所以外の「予期せぬ変更」はないか?				
④ 入稿作業時に守るべきルール、確認すべきポイント				
● カンプ・出力見本				
原寸サイズでのプリントアウト(倍率設定の確認)				
トンボ・裁ち落としの設定(プリントダイアログでの設定を確認)				
● ドキュメントの保存・パッケージ				
保存バージョン(バージョンダウン不可)				
指定された保存形式での保存・適切な保存オプションのチェック				
「パッケージ」を使用してデータをまとめる				
● PDFの作成				
指定された「書き出しプリセット」の使用(設定は変更しない)				
指示通りのトンボ・裁ち落とし設定、PDFおよびPDF/Xのバージョン				
PDFをAcrobatで開いて目視確認(要・Acrobatの環境設定)				
PDFをAcrobatでプリフライト(「印刷工程」→「プリフライト」)				

※チェックシートのチェック欄には必要事項を記入するか、チェックマークを記入して、データチェック時の確認に使用してください

※チェック項目と設定はあくまで一般的な設定です。実際の作業時には「クライアント・印刷会社などからの指示・ルール」にあわせてデータを作成しましょう